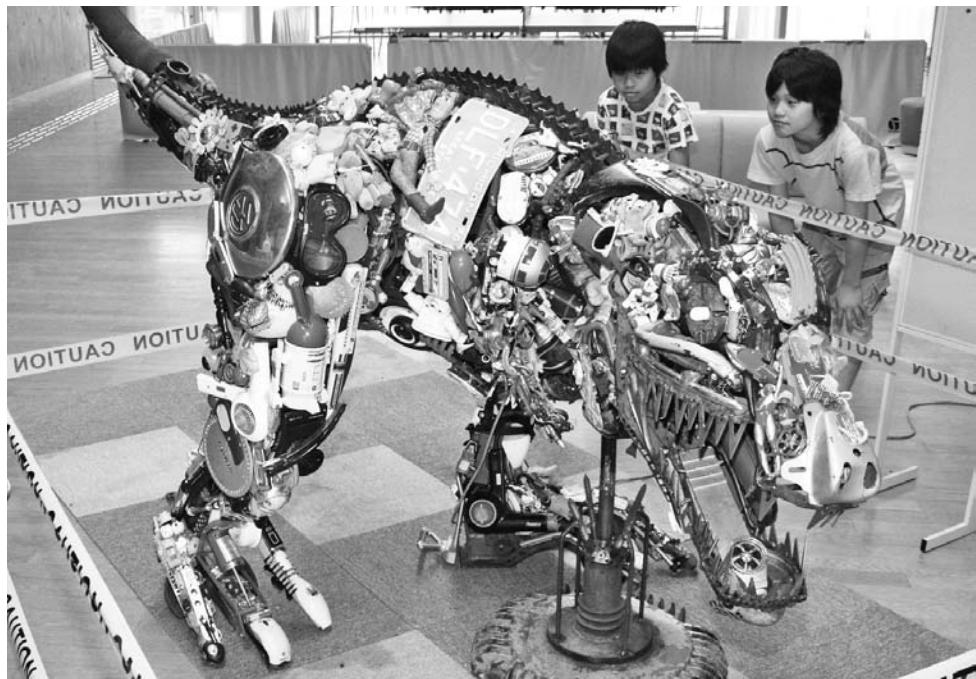


## ものの見方が変わります



廃棄物をアートに変身させようと、不用になった日用品や古い雑貨品などを再利用してできた造形恐竜「トラッシーレックス」が武儀生涯学習センターに現れました。トラッシーレックスは体長3.5メートル、重さ200キロあります。地球上には

ごみがあふれているともいえますが、集めて組み立てれば立派な芸術作品に様変わり。体中に面白い部品や懐かしいおもちゃが隠れていて、来場者はじっくり探しながら見学し、廃材アートの魅力を満喫していました。

# あんな事、こんな事



## 雨の日のあじさいデート

今年も板取地域で「青い海」が見られました。10万本のあじさいが華やかに咲き誇る中、あじさいフェスティバルが開催され、多くの家族連れでにぎわいました。あじさい広場やステージなどでは、多彩なイベントで大いに盛り上がりました。あいにくの雨でしたが、濡れた花姿もそれは美しく、梅雨でも出かけたくなるしっとりとした魅力を感じました。

## 心を伝える歓喜の歌

市制60周年を記念して、ベートーベンの交響曲第9番合唱付き、通称「第九」の演奏会が11月に開催されます。200人以上の市民から成る「関市第九合唱団」とオーケストラによる大合唱で祝います。結団式で参加者は、市民の皆さんに感動を与えるため、心を最大限に高めて協力し合い、当日に向けて頑張って練習していくことを誓い合いました。引き続き、参加していただける団員を募集しています。





## 関商工のお家芸

1リットルのガソリンでどれだけの距離を走行できたかを競う「Hondaエコマイルレッジチャレンジ2010」鈴鹿大会が三重県の鈴鹿サーキットで開催され、関商工高校機械部3年生チームのエコランカーが見事準優勝を収めました。180ccのガソリンでサーキットを周回し、その結果を1リットルあたりに換算して走行距離を競うもので、これで3年連続の入賞。部員全員が楽しみながら熱心に取り組んだことがよりよい結束力となりました。

## 国際貢献へ強い決意

青年海外協力隊として2年間ケニアに赴任する加藤由美さん(小屋名)が、出発前のあいさつで市長を訪問しました。医療と語学の知識を生かし、HIV感染予防や啓発活動、感染者のケアや治療サポートなどに携わるとのことで、「準備は万全。私が来てくれてよかったと現地の人に思ってもらえるように頑張りたいです」と意気込みを語りました。活躍を祈ります。



## 水無月の夏越しの祓する人は

6月30日、貴船神社で「夏越しの大祓」の神事が行われました。半年間の無事を感謝し、罪やけがれを祓って残り半年間の無病息災を祈願するもので、境内に直径約3メートルの茅の輪が置かれ、多くの参拝者が訪れました。「茅の輪くぐり」といい、茅の輪を8の字にくぐり抜けると御利益があります。浴衣姿の子どもも見られた初夏の風物詩です。

## 抜き取り作業が効果的

初夏に黄色いコスモスのような花を咲かせる「オオキンケイギク」は、繁殖力が強く、河川敷などで大群生を作り、在来植物を駆逐する特定外来生物に指定され、栽培も禁止されています。市内一大きい農業用ため池「中池」の堤防一面に咲いていましたが、地元住民50人が抜き取って駆除。参加者はすっきりと満足げな表情で、在来植物が豊富で身近な美しい水辺環境を守りました。



## こぼれ話



皆さん、「育子からの手紙」という映画はご覧になりましたでしょうか。この映画は、関市出身の映画監督・村橋明郎さんの作品で、文部科学省特別選定作品(少年・青年・家庭向)の指定を受けた劇映画です。このたび関市教育委員会は、この映画が青少年に生きることへの希望と勇気を与えるたいへん優れた作品として教育映画鑑賞実行委員会を立ち上げ、子どもたちをはじめ多くの皆さんが鑑賞できる機会を設けました。鑑賞会は、倉知のシ

ネックスマーゴで夏休み期間である8月に計画されています。この映画を盛り上げようと市内在住の村橋監督と同級生の皆さんが「応援する会」を立ち上げ、PR活動をされています。

小さいころ、映画館へ行くのはそれは大きなイベントでした。そんな子どものころに観た映画は心に残るもの。将来大人になった時、こんな思い出話ができるような、お気に入りの映画を自分の子どもに観せたいと思いませんか。現在、前売券が販売されています。ぜひ親子でご鑑賞ください。